



第 42 回 埼玉県臨床細胞学会

・ 埼玉県臨床細胞医会学術集会

抄 録 集

日 時： 2024 年（令和 6 年）4 月 20 日（土）13 時 00 分
受付開始は 12 時 30 分より

会 場： 埼玉県県民健康センター 2 階大ホール
さいたま市浦和区仲町 3-5-1 TEL 048-824-4801

参加費： ￥ 2, 0 0 0

学術集会長 高瀬 優（越谷市立病院 病理診断科）

主 催： 埼玉県臨床細胞学会・埼玉県臨床細胞医会

後 援： 埼玉県医師会

===== 取 得 単 位 =====

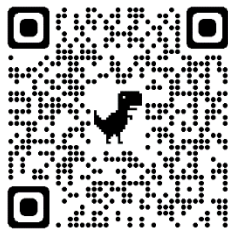
- 日本臨床細胞学会細胞診専門医 2 単位
- 日本産科婦人科学会 学術集会参加
- 日本専門医機構 学術集会参加 1 単位
- 日本専門医機構 産婦人科領域講習受講 1 単位
- 日本臨床細胞学会細胞検査士単位 10 単位（JSC）, 4 単位（IAC）

2024年度（令和6年度）埼玉県臨床細胞学会 総会

第42回埼玉県臨床細胞学会・埼玉県臨床細胞医会学術集会 申し込み方法

申込フォーム：専用 Google フォーム

https://docs.google.com/forms/d/1jj8LPejM6LsII8mfYF7kVkDO_yz_-rTI7nRznl_I7A/edit

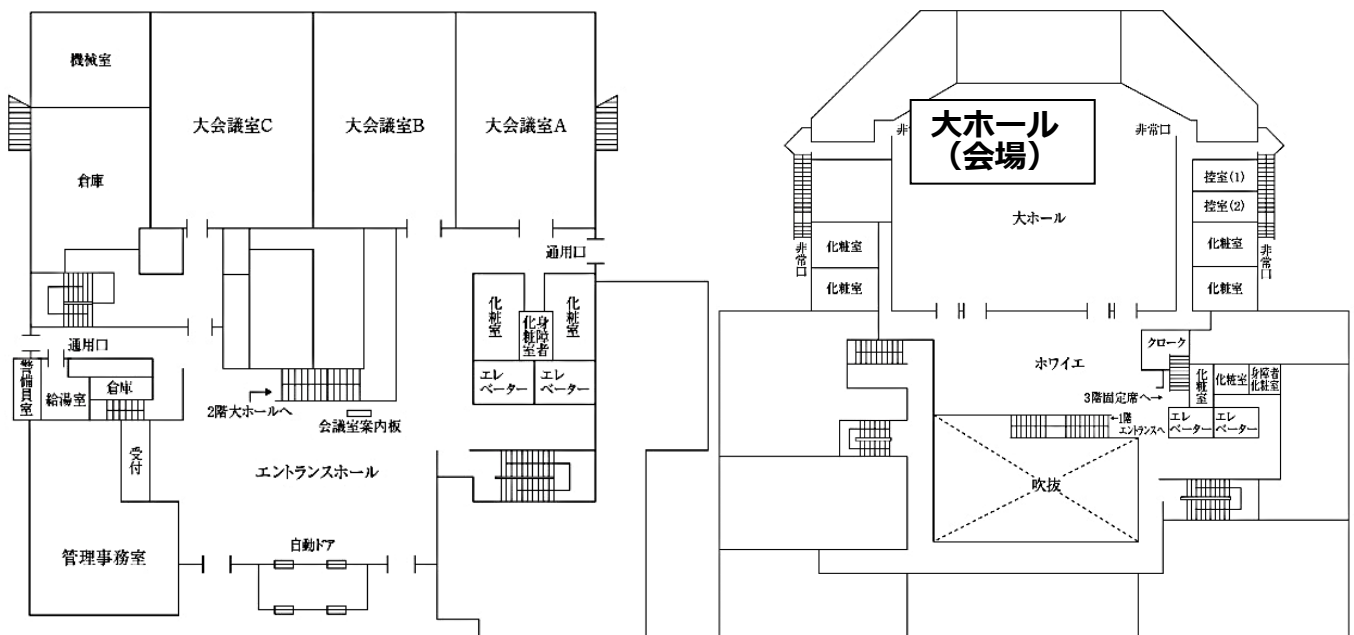


- ・ 総会および学術集会への参加は、事前申し込みが必要です。
- ・ 必ず、個人での参加申し込みを行ってください（施設単位や複数人での申し込みは原則できません）。
- ・ 欠席される会員の方も、総会に対する委任状も兼ねますので、必ず欠席申込みをお願い致します。
- ・ 学術集会は各種クレジットの対象になりますが、当日参加が確認されない場合は対象になりません。

フロアマップ

1 F

2 F



開催に際しての注意点とお願い

1. 当日の会場参加についての注意点

- ・当日はマスク着用の上ご来場ください。
- ・会場に入る際は手指消毒にご協力ください。

2. 発表形式について

1) 特別公演

- ① スクリーンは1面で、講演にはパソコン及びプロジェクター各1台を使用します。
- ② 会場に設置するパソコンはWindows搭載機のみです。
- ③ ご講演データはUSBメモリにてお持ちください。
(持ち込みのパソコンをご希望の場合、Windows搭載機のみ対応可能です)
- ④ ご講演に使用できるデータはMicrosoft Power Pointで作成したものに限りです。
- ⑤ Windowsに標準搭載されているフォントを推奨いたします。
(MacOSでスライドを作成される場合、文字がずれることがありますのでご注意ください)
- ⑥ 発表データは学術集会当日13:15までに演題受付へご提出願います。
(発表データの受付は12:30より開始いたします)

2) スライドカンファレンス

- ① 当日は15:50から16:50のセクションで口述発表していただきます。
- ② 一症例の発表時間は解答者5分、解説12分、質疑応答含め計20分です。
- ③ スクリーンは1面で、講演にはパソコンおよびプロジェクター各1台を使用します。
- ④ 会場に設置するパソコンはWindows搭載機のみです。
- ⑤ 発表データはUSBメモリにてお持ちください。
- ⑥ 発表に使用できるデータはMicrosoft Power Pointで作成したものに限りです。
- ⑦ Windowsに標準搭載されているフォントを推奨いたします。
(MacOSでスライドを作成される場合、文字がずれることがありますのでご注意ください)
- ⑧ 発表データは学術集会当日の13:00までに演題受付へ提出してください。
(発表データの受付は12:30より開始いたします)

プログラム

I. 開会の辞 13:00 ~ 13:05

集会長：高瀬 優（越谷市立病院 病理診断科）

II. 特別講演 I 13:05 ~ 13:55

座長 藤井 晶子（獨協医科大学埼玉医療センター 病理診断科）

講演 千葉 知宏（がん研有明病院 臨床病理センター 細胞診断部・病理部）

「甲状腺病理・細胞診のアップデート」

休憩（5分）

III. 特別講演 II 14:00 ~ 14:50

座長 高瀬 優（越谷市立病院 病理診断科）

講演 松林 純（東京医科大学 人体病理）

「肺腺癌の診断の臨床病理学的進歩 -診断における細胞診検体の役割を考える-」

休憩（10分）

IV. 総会 15:00 ~ 15:50

「事業・会計報告及び事業計画・予算案, 2024年2025年度役員承認, その他」

V. スライドカンファレンス 15:50 ~ 16:50

座長 関 れいし（戸田中央病理診断科クリニック 病理診断科）

阿部 健一郎（深谷赤十字病院 検査部）

【婦人科】出題 松本 絵里香（獨協医科大学埼玉医療センター 病理診断科）

解答 寺田 佐和子（所沢美原総合病院 臨床検査科）

【呼吸器】出題 小林 高祥（上尾中央総合病院 検査技術科）

解答 嶽 秀行（川口市立医療センター 検査科）

【甲状腺】出題 北島 俊輝（埼玉医科大学国際医療センター 病理診断部）

解答 細田 健太（自治医科大学附属さいたま医療センター 病理部）

VII. 閉会の辞 16:50 ~ 16:55

実行委員長 藤井 晶子（獨協医科大学埼玉医療センター 病理診断科）

特別講演 I

「甲状腺病理・細胞診のアップデート」

がん研有明病院 臨床病理センター 細胞診断部・病理部

千葉 知宏

次世代シーケンサーを活用した包括的癌ゲノム解析プロジェクト, The Cancer Genome Atlas (TCGA) などが実施され, 甲状腺腫瘍の遺伝子異常に関する理解が深まっている. 2022年に公開されたWHO分類第5版(β版)では, 遺伝子異常に基づき, 腫瘍細胞の起源と悪性度による新たな系統的分類が導入され, 昨年発刊された甲状腺癌取扱い規約第9版でもWHO分類に準じた組織型分類が採用されている.

分類上の重要な変更点としては, ①濾胞癌および乳頭癌の分類がドライバー遺伝子を参考に改訂された, ②良性病変の枠組みが広がった, ③膨大細胞腫瘍の名称が採用された, ④低リスク腫瘍が定義された, ⑤High-grade癌の概念が導入されたことなどが挙げられる. これらの変更点は日常的な組織診・細胞診において少なからず影響を及ぼしている. 変更点の意義を解説し, 診断上のピットフォールを提示する.

一方で, 我が国の臨床においても包括的ゲノムプロファイリング検査(CGP)やコンパニオン診断としてのオンコマインDxが保険適用され, 分子標的薬を駆使した個別化医療の実現が近づいている. 甲状腺領域における遺伝子解析や分子標的薬の開発状況を解説する.

本講演にて, 甲状腺の組織診・細胞診における知識と診断基準のアップデートを図り, 日常診療に役立てて頂きたい.

特別講演Ⅱ

「肺腺癌の診断の臨床病理学的進歩 -診断における細胞診検体の役割を考える-

東京医科大学 人体病理

松林 純

原発性肺癌は本邦における5大悪性腫瘍の1つで、悪性度が高い症例が多い。その中で、腺癌は最も発生頻度の高い腫瘍型であり、病理組織学的に多彩でドライバー遺伝子異常が次々と同定されている。さらに各々のドライバー遺伝子異常に対応する分子標的治療の開発は目を見張るものがあり、肺腺癌の診断や治療に注目が集まっている。本講演では、主に肺腺癌の病態について画像・病理診断や治療に関する知見を概説し、その中で診断における細胞診検体の役割を様々な観点から考察する。

はじめに、肺腺癌の組織像や細胞像に基づいた腫瘍型分類の歴史的変遷や臨床病理学的意義を概説する。特に、現行の肺腺癌の腫瘍型分類では、旧来の分類と比較してより予後に重点が置かれているが、具体的には、腫瘍細胞の肺泡置換性増殖成分を除いた腫瘍の浸潤部の最大径によってT因子が規定されており、また生物学的態度を反映する病理組織所見の優勢像を以て腫瘍亜型を決めることになっているので、この点についても言及する。肺腺癌の予後という点から、自施設を含めた本邦における小型肺腺癌の浸潤に着目した画像診断や病理診断の進歩についての研究成果をいくつか紹介する。次に、呼吸器領域の細胞診・組織診検体の採取法別の特徴像を説明する。さらに、現在肺腺癌で標準化している分子標的治療に必要不可欠な“遺伝子検査”を念頭に置いた適切な病理検体の取り扱いに際する留意点について自施設での取り組みを中心に紹介し、遺伝子検査における細胞診検体の役割や重要性を考えたい。

スライドカンファレンス

— 【婦人科】 —

出題 松本 絵里香 (獨協医科大学埼玉医療センター 病理診断科)

解答 寺田 佐和子 (所沢美原総合病院 臨床検査科)

症例 1

患者: 70代, 女性

採取方法: 子宮頸部ブラシ擦過

臨床情報: 妊娠歴 3 経妊 3 経産

現病歴: 他院にて早期大腸癌内視鏡切除後の経過観察中, CT で多発性筋腫, 子宮留水腫を指摘され, 精査目的に当院産婦人科を紹介受診. 膣鏡診では出血や膣部腫瘤は認められなかったものの, 悪性否定目的のため子宮頸部擦過細胞診が施行された.

— 【呼吸器】 —

出題 小林 高祥 (上尾中央総合病院 検査技術科)

解答 嶽 秀行 (川口市立医療センター 検査科)

症例 2

患者: 80代, 男性

採取方法: 気管支擦過: LBP TACAS™ Ruby 上尾方式 Pap 染色 1 枚

気管支洗浄液: すり合わせ標本 Pap 染色 2 枚.

LBP TACAS™ Ruby 上尾方式 Pap 染色 1 枚 (すり合わせた残りの沈渣から作製)

主訴: 検診にて右肺野異常陰影指摘され当院呼吸器腫瘍内科受診.

既往歴: 大腸ポリープ, 高血圧, 脳梗塞, 糖尿病.

喫煙歴: 30本/1日×50年.

現病歴: CT で右肺下葉 S9 の背側胸膜下に 25×38×37 mm 大の辺縁不整な腫瘤性病変を認め, EBUS-GS-TBB 施行した. その後胸腔鏡下右肺下葉切除+リンパ節郭清を施行した.

※ LBP: TACAS™ Ruby: 上尾方式とは TACAS™ Ruby を固定液として用いて, 15 時間以上の固定を行った後に, 標本作製を行う技法のこと.

— 【甲状腺】 —

出題 北島 俊輝 (埼玉医科大学国際医療センター 病理診断部)

解答 細田 健太 (自治医科大学附属さいたま医療センター 病理部)

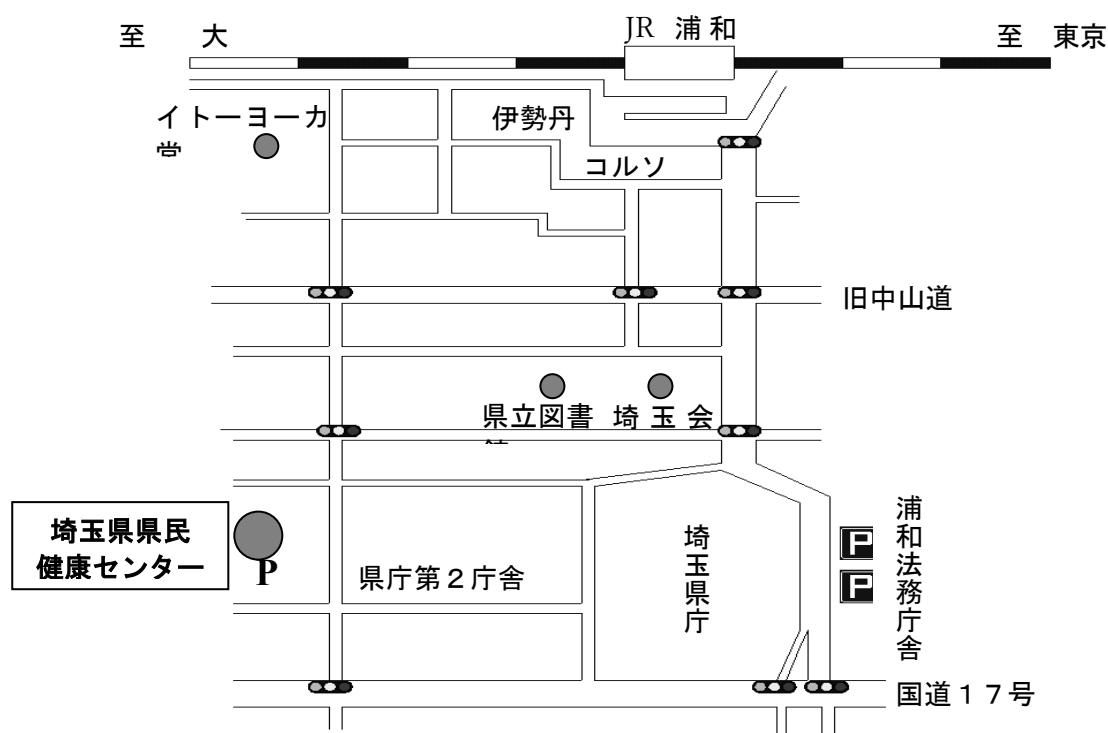
症例 3

患者: 62 歳, 男性

採取方法: 甲状腺右葉下極の穿刺吸引 Pap: 1 枚 MGG: 1 枚 LBC(SurePath): 1 枚

現病歴: 他院にて甲状腺両葉に複数結節が認められ当院紹介.

案内図



アクセス：JR 浦和駅から學術集會会場まで徒歩約15分

お車の場合、近隣の駐車場を利用可能下さい。

住所：さいたま市浦和区仲町3-5-1

TEL：048-824-4801 (代)

URL：https://www.saitama.med.or.jp/center_1.html



第42回埼玉県臨床細胞学会・埼玉県臨床細胞医学会學術集會 実行委員

學術集會長 高瀬 優 (越谷市立病院)

実行委員長 藤井晶子 (獨協医科大学埼玉医療センター)

実行委員 田立さやか (越谷市立病院) 事務局

内田春香 (越谷市立病院) 事務局

山崎泰樹 (獨協医科大学埼玉医療センター)

関 れいし (戸田中央病理診断科クリニック)

松本健宏 (戸田中央病理診断科クリニック)

河野哲也 (自治医科大学附属さいたま医療センター)

鈴木 隆 (JCHO 埼玉メディカルセンター)

神戸僚太 (川口市立医療センタ)

並木幸子 (獨協医科大学埼玉医療センター)

小野寛文 (獨協医科大学埼玉医療センター)